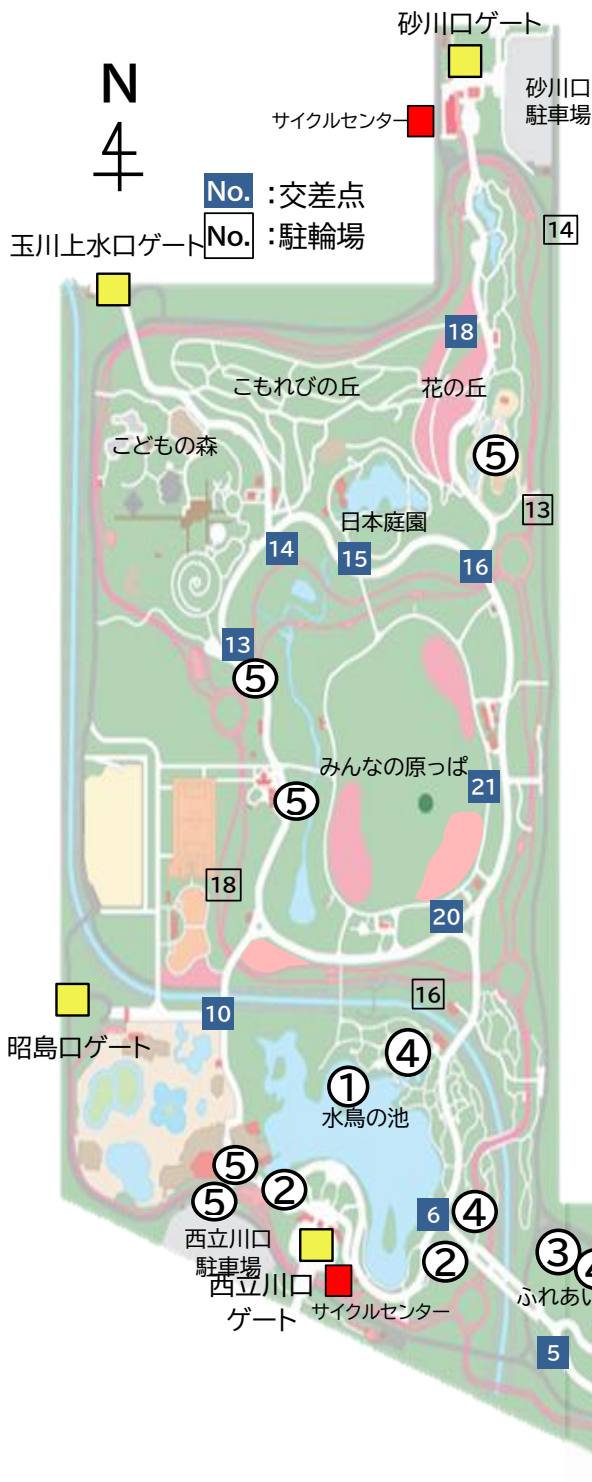


2026年6月18日

お知らせ

花だより開花リストは、各ゲートにて掲示しております。
下記QRコードの公園HPでもご覧いただけます。

最新の開花情報は
公園HPをご覧ください。



① ハンゲシヨウ



② スカシユリ



③ アジサイ



④ アナベル



⑤ ネムノキ



※写真は6/18(木)撮影

花だより

2026年6月18日現在

	植物名	科名	状況	場所	一口メモ
草花	ハナショウブ	アヤメ	見頃後半	花木園菖蒲田	葉がショウブに似ており、花を咲かせることからハナショウブと名が付けました。元々はノハナショウブを品種改良した園芸種です。
			見頃過ぎ	日本庭園	
	スカシユリ	ユリ	開花中	西立川口ぶらぶら坂、ふれあい橋南西花壇	花びら同士の間隙があり、花の後ろが透けて見えることから名前がつけられました。
	オリエンタルリリー	ユリ	開花中	西立川口ぶらぶら坂	日本にのみ自生している6品種の固有種を交配してできた新しい品種の総称です。
	テッポウユリ	ユリ	開花中	溪流広場レストラン周辺	ラッパに似た形の筒状の花を横向きに咲かせます。
	ハンゲショウ	ドクダミ	見頃	ハーブ園西側(水鳥の池北岸)	日当たりの良い湿地などで育ちます。花が咲く時期になると葉が一部を残して白色に変化します。
	クガイソウ	オオハコ	開花中	ロックガーデン	青紫の花を長い穂状につけます。傘に見立てた輪生葉が全部で9層あることから名前が付けられたとされています。
	ネジバナ	ラン	開花中	日本庭園	芝生地でピンクや白の小さな花をらせん状に咲かせます。モジズリという別名もあります。
	スイレン	スイレン	開花中	花木園菖蒲田	見た目が似ているものにハスがありますが、ハスは葉が水面から立ち上がるのに対し、スイレンは葉が水面に浮かぶ特徴があります。
ハス	ハス	つぼみ	こもれびの里	実の形がハチの巣に似ているところからハチスと呼ばれ、変異してハスとなりました。原産地はインドです。	
樹木	アジサイ	アジサイ	見頃	ふれあい広場北側斜面	平安時代から歌にも詠まれ親しまれている花です。園内に約9000株のアジサイが植栽されています。
	アナベル	アジサイ	見頃	ふれあい広場北側斜面、花木園展示棟前、No.6駐輪場周辺	アジサイの仲間です。開花につれ薄緑色から白色に変わります。どこを剪定しても翌年花をつける性質があります。
	カシワバアジサイ	アジサイ	見頃後半	西立川口ぶらぶら坂下	北米原産のアジサイです。白色の花を円錐状につけ、横向きか下に垂れ下がって咲きます。
	タイサンボク	モクレン	見頃終盤	ふれあい広場北側斜面、5番交差点、原っぱ東側園路沿い、花木園	日本では公園樹としてよく植栽される常緑高木です。近縁種のヒメタイサンボクは落葉小高木です。
	ネムノキ	マメ	開花中	溪流広場レストラン前、No.4駐輪場周辺、レイクサイドハウス前、こどもの森月の丘近く、こもれびの里	日本では、この枝で頭をなでると早起きになる、体をさすって眠りを覚ませば農作業に精が出るなどの言い伝えがあります。
	クチナシ	アカネ	開花始め	溪流広場レストラン北側	クチナシの実で黄色に染めた黄飯と呼ばれるものが大分県では郷土料理として紹介もされています。
	キンシバイ	オトギリソウ	開花中	日本庭園	枝垂れた枝の先端にうつむき加減に黄色い花を咲かせます。江戸時代に中国から渡りました。
	シモツケ	バラ	開花中	原っぱ中央売店向かい園路沿い	昔の下野の国(現栃木県)で最初に見つけられた植物とされています。
	ノリウツギ	アジサイ	開花中	No.11トイレ向かい園路沿い	開花始めはガクアジサイのような形状からゆっくり伸びて房状となります。枝をもむとノリのようにべたつく特徴もあります。
ハーブ園	ベルガモット	シソ	開花中	花木園売店前、ハーブ園	花は唇形で、茎の先端に輪状に花を咲かせます。ハーブティー、香料、薬用に使われることもあります。
	エキナセア	キク	開花中	花木園売店前、ハーブ園	根の部分に含まれている有効成分には、免疫機能を高める働きや抗炎症作用があります。
こもれびの丘	ホタルブクロ	キキョウ	開花中	こもれびの丘南斜面	大きな円筒形の袋のような花を咲かせます。昔、こどもがホタルを花の中に入れて遊んでいたかもしれないと想像して付けられた名前です。
	オカトラノオ	サクラソウ	開花中	こもれびの丘南斜面	花穂をトラのしっぽに見立て、高台によくみられることからこの名が付けました。若芽は食用にもなります。
盆栽苑	床の間展示	盆栽の「くちなし」と添え草の「風知草」をご覧ください。(季節に応じて展示を変更する場合があります。)			